

インフルエンザ予防接種費補助事業の拡充について

1 現状

(1) 本市における新型コロナウイルス感染症の発生状況

月	検査数	陽性者数
2月～6月	1,561件	26件
7月	1,710件	44件
8月(14日現在)	1,112件	38件

(2) インフルエンザの流行状況等

- ・ 例年11月下旬から流行が始まり、ピークの時期は1月下旬から2月下旬となっている。その推計受診者数はピーク時には1週間当たり全国で200万人前後(本市:8,200人前後)、累積受診者数はシーズン当たり全国で1,200万人(本市:5万人)となっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザはともに発熱を伴うことが多く、症状が似ていることから、発熱者は新型コロナウイルス感染症も疑われる可能性があり、インフルエンザの流行期には新型コロナウイルス感染症の疑似症患者の増加が見込まれる。

(3) 本市におけるインフルエンザ予防接種費補助の状況

	対象者	一回あたりの 接種費	自己負担額	回数	接種率 (3か年平均)
			補助額		
定期接種 (対象者は全国一律)	65歳以上	5,588円	1,500円※1	1回	53.3%
			4,088円		
本市独自事業	1歳児	約4,000円	3,000円	2回 ※2	63.6%
			1,000円 (補助率25%)		

※1 定期接種対象者の自己負担額は、定額でワクチン価格相当額としている。

※2 13歳未満については、ワクチンの添付文書の規定により2回接種

2 今後の対応

- ・ 例年1月下旬から2月上旬にはインフルエンザのピークを迎え、本市において、発熱等の症状による医療機関への受診者が推計で1週間当たり8,200人程度(1日当たり約1,100人)発生し、それに伴い、通院等による接触機会が増え、新型コロナウイルス感染症への感染が懸念され、また、発熱等の症状が類似しているため、診察・検査を受ける患者数の増加が予測され、検査・治療に係る医療提供体制のひっ迫

が考えられることから、インフルエンザの患者数を減少させる必要がある。

- 新型コロナウイルス感染症の影響下におけるインフルエンザの今期の流行抑制に資するため、令和2年10月1日よりインフルエンザ予防接種費補助事業の対象者を全世代に拡大する。